



人はみな、生かされて、生きてゆく。

更生保護サポーターセンター 和歌山

和歌山市八番丁4
和歌山保護司会
更生保護サポートセンター

発行者 保護司会会長
編集 企画調整保護司
073-460-9298

和歌山県更生保護女性連盟

結成五十五周年記念大会盛大に

開催される(和歌山市において)

去る、十一月十四日ホテルグランドヴィア(和歌山市)において関係者三百余名が一堂に会し、先の全国大会・県顕彰式典で表彰、感謝状を受賞された方々のご披露と、あらためてのお祝いを



和歌山更生保護女性連盟会長石谷秀子氏

和歌山保護観察所所長 石原浩一氏

和歌山保護観察所所長石原浩一氏(写真上左)からも祝辞と監督官庁、行政の立場から更生保護にご理解ある言葉を頂きました。また、公務で出席できなかった和歌山市長のメッセージ



親しく祝辞を述べる仁坂和歌山県知事



祝辞を述べる近畿更生保護委員会・鈴木一光委員長

をいたしました。冒頭、石谷秀子連盟会長が五十五周年の「あしどり」と次世代に向けての抱負を会員に語りかけ、盛大な拍手で賛同を得た。その後、ご来賓として近畿地方更生保護委員会委員長鈴木一光氏、和歌山県知事仁坂吉伸氏



講演が終わり降壇する 妙長寺・青木健齊住職

県下各地よりご参加いただいた方々への歓迎の言葉と、祝辞を頂きました。大会の最後に、誓いの言葉を満場一致で採択し閉会しました。その後、妙長寺住職・青木健齊氏による「二度とない人生だから」と題し記念講演に移った。講演は、三百余名のお経の大合唱から始まり、「相田みつを」氏の著書の一節を引用し、「つまずいたり、ころんだりしたおかげで物事を深く考えるようになりました。あやまちや失敗をくり返したおかげで、少しづつだが、人のやることを暖かい目で、みられるようになりました。』と、ご講話いただきました。



市長メッセージを代読する、市民部部長 平田謙司氏

を市民部部長平田謙司氏が代読

今後の行事・研修会の予定 (広報紙発行日以降の予定)

主催者	行事名 (内容)	開催日	時間		
和歌山保護司会	和歌山保護司会(総務・研修・犯罪予防活動・協力組織)各部総会 平成24年度を顧みて・くる年へ 和歌山保護司会新年会	1月 22日	午後16:00～ 午後18:00～	アバローム「きのくに」	
	東支部	第4期定期研修【事例研修】2号観察について講師 担当保護観察官	2月 21日	研修: 13:30～15:00	ビック愛601号室
		東支部拡大役員会(正副部長・地域責任者含)	2月 21日	役員会: 15:00～17:00	ビック愛601号室
	西支部	第4期定期研修【事例研修】2号観察について講師 担当保護観察官	3月 5日	研修: 13:30～15:30	観察所1階会議室
		新任保護司・中堅保護司・支部役員の意見交換懇談会	2月 26日	研修: 13:30～15:30	サポートセンター
	南支部	第4期定期研修【事例研修】2号観察について講師 担当保護観察官	2月 12日	研修: 14:00～16:00	紀三井寺はやし 3階
		第4回役員会(正副部長・監事)	3月 26日	11:00～14:00	紀三井寺はやし 1階
北支部	第4期定期研修【事例研修】2号観察について講師 担当保護観察官	2月 7日	研修: 13:30～	河北コミュニティーセンター	
和歌山県 保護司会連合会	平成24年度 和歌山県保護司等代表者会 和歌山県保護司会連合会理事会	3月 未定	～	観察所4階会議室	
和歌山保護司会 更生保護女性会 協力雇用主会		月 日	～		
更生保護女性会		月 日	～		
		月 日	～		

※所属支部の研修に出席できない時は、事前に支部長又はサポセンに連絡し都合の良い他支部の研修会に参加してください。

生

人はみな、生かされて、生きてゆく。

更生保護サポートセンター和歌山

和歌山市八番丁4
和歌山保護司会
更生保護サポートセンター
発行者 保護司会会長
編集 企画調整保護司
073-460-9298

直川地区「第8回みんなが主役 演芸まつり」に 桂 枝曾丸氏（社明大使）特別出演 地域での「ふれあい」と「絆」の大切さを訴える。



なっております。今回は、法務省が主唱する「社会を明るくする運動の一環として、社会を明るくする大使の桂 枝曾丸氏と、わかやま応援団・演歌歌手の山口智世氏のお二人に特別出演を頂きました。

桂 枝曾丸氏の「ふるさと魅力ばなし」では、聞きなれた和歌山弁と身振り手振りで、会場を沸かせながら、犯罪や非行のない安全で安心な地域づくり、又ふれあいと絆の大切さを語って頂きました。

去る十月二十一日直川小学校に於いて、地区住民五百余名の参加のもと第8回みんなが主役演芸まつりが開催されました。この行事は、公民館・老人会・婦人会等の日頃の活動の成果である絵手紙・生け花・手作り作品・それに加えて小学生の硬筆習字・児童養護施設「こぼと学園」支援活動写真の展示。更には大正琴・詩吟・舞踊・フラダンス・カラオケ等の発表の場として、又地域住民の交流の場と



一方、歌手の山口智世さんは「悠久の道 熊野古道」他2曲を熱唱し、ふるさと和歌山への応援をいただきました。参加いただいた方からも大変好評をいただきました、楽しく有意義な一日となりました。（玉井記）



おなじみの「和歌山のおばちゃん」を熱演する枝曾丸師匠



客席まで降りての大熱唱・・・
演歌歌手 山口智世さん



西支部県外研修

法務省を訪ねて

和歌山保護司会西支部は、八月三十一日、西支部県外研修として法務省を訪ねました。法務省は霞が関の官庁街の中でも皇居に一番近い位置にあります。東側に日比谷公園、西側に警視庁が有り、皇居の桜田門のすぐ南側に立地している。



赤れんが棟での説明

更生保護サポートセンター和歌山では各種報告書の様式・書式をご希望の保護司の方に配布しています。

「ワード・エクセル・一太郎形式でのPC入力用」
※保護司の方に限ります。「保護司の証票」の提示を求められることがありますのでご用意の上、サポートセンター駐在保護司にお申し出ください。

サポートセンター 電話 073-460-9298



板谷充課長の講演

から入りました。この赤れんが棟は法務省の沿革史料や法務行政の歴史史料などの展示室を見学させて頂きました。明治十三年に公布された旧刑法、これは近代法の原則を種々盛り込んだのが国最初の基本法典です。その草案（司法省としての確定案）等の展示や、明治十五年四月に自由党総理板垣退助が岐阜で暴漢に襲われた際の事件の書類の展示等を係員の丁寧な説明で見学致しました。昼食後には本館二十階の会議室で、保護局更生保護振興課の板谷充課長から「更生保護等について」との講演をして頂きました。十六年まで和歌山保護観察所長として赴任しておられたので、ご存知の方も多いと思います。その講演の内容は関東に戻られたからの七年間の事が主でしたが、就業支援センターや更生保護サポートセンターの構想から着工、設立へと関わられた事や「大津の『いじめ』自殺事件」に関して気になること、や「発達障害」と刑事司法」についての現状等を聞かせて頂き、実りある法務省訪問でありました。

西支部 研修部長 林 吉男記

東支部県外研修

松山刑務所訪問

和歌山保護司会東支部は、十一月二、三日の両日にかけて県外研修として松山刑務所を訪ねました。松山刑務所は四国唯一の犯罪傾向の進んでいない初犯受刑者を収容する矯正施設である。大正十一年に松山刑務所と改称松山市内中心部から東温市見奈良に昭和四七年に現在地に移転した施設である。また、日本で唯一の塀の無い刑務所である。開放的処遇施設である松山刑務所大井造船作業場は民間造船所である新来島どつくの大西工場敷地内に存在する構外泊まりこみ作業場として同敷地内に（受刑者は敷地内の「友愛寮」に）作業場を開設したのが始まりである。寮の出入りは自由で部屋には鍵がなく、刑務所の作業員は工場で一般従業員と一緒に作業する。ここを出所した受刑者の再犯率は数%と非常に少ないことが特記される。受刑者を社会復帰させるための大胆な試みであり、注目されている。



松山刑務所正門前にて参加者集合写真